

日本台湾学会第七回学術大会プログラム

(2005.5.18現在)

日時：2005年6月4日（土）

場所：天理大学3号棟（南棟）および9号棟（ふる

さと会館）

〒632-8510 天理市杣之内町1050 [map](#)

Tel:0743-63-7412 Fax:0743-62-1965

参加費：2000円（報告論集代）

スケジュール：

1. 受付開始：9：30
2. 午前の部：10：00～11：50
3. 午後の部：13：30～15：20
4. 記念講演：15：30～17：00
5. 会員総会：17：10～17：40
6. 懇親会：18：00～20：00



<分科会報告>

第1分科会

1930年代から40年代における台湾文学界の変容の諸相—「読者」「大衆」「文壇」をキーワードとして

10：00～11：50（休憩） 13：30～15:20 於3 2 F教室（午前・午後、2セッション企画）

企画責任者：星名宏修（琉球大学）

座長：星名宏修

報告者

垂水千恵（横浜国立大学）「想像の「大衆」—左翼作家楊逵の抱える矛盾と葛藤について」

柳書琴（国立清華大学）「漢文通俗雑誌與大衆文化生産—以《三六九小報》及《風月報》為分析場域」

橋本恭子（一橋大学大学院）「1940年代の台湾文壇と島田謹二」

末岡麻衣子（東京大学大学院）「周金波「フアンの手紙」論」

コメンテーター

岡田英樹（立命館大学）、李承機（国立成功大学）

第2分科会

オリエントのオリエンタリズム再考—日本統治期台湾における「旧慣」と「伝統の発明」

10:00~11:50（休憩） 13:30~15:20 於 3 2 C 教室（午前・午後、2セッション企画）

企画責任者：黄英哲（愛知大学）

座長：呉密察（国立台湾大学）

報告者

陳昭如（国立台湾大学）「法的オリエンタリズムの下での近代化—台湾法律史上における相続と祭祀の分離を例として」

陳偉智（ニューヨーク大学大学院）「文献・文物および遺跡に歴史を発見する—尾崎秀真と連横における台湾の歴史記述」

富田哲（淡江大学）「日本統治初期台湾の戸口調査にみる「種族」認識」

温浩邦（東京大学大学院）「歴史意識の縫れ合い—日本統治期における台湾Tso族に関する「歴史」記述を例として」

コメンテーター

浅野豊美（中京大学）、黄英哲、栗原純（東京女子大学）、中生勝美（大阪市立大学）

第3分科会

戦後台湾における「日本」認識—脱植民地化と日本研究の形成—

10:00~11:50於3 2 B教室（午前、1セッション企画）

企画責任者：松金公正（宇都宮大学）、川島真（北海道大学）

座長：松金公正

報告者

川島真「台湾における日本研究のおかれている状況」

黄智慧（中央研究院民族学研究所）「台湾における『日本認識』の形成と脱植民地化」

コメンテーター

黄自進（中央研究院近代史研究所）、若林正丈（東京大学）

第4分科会

旧高等商業における旧植民地関係コレクションの形成と現況—台湾を中心に—

13:30~15:20 於3 2 B教室（午後、1セッション企画）

企画責任者：金丸裕一（立命館大学）、川島真（北海道大学）

座長：金丸裕一

報告者

川島真 趣旨説明

金重幾久美（山口大学）「旧制山口高商が収集した台湾関係資料」

阿部安成（滋賀大学）「彦根高等商業学校にとっての台湾」

泉沢久美子（アジア経済研究所）「旧植民地関係機関刊行物総合目録データベース化とアジ研の蔵書」

コメンテーター

所澤潤（群馬大学）、川島真

第5分科会

日台企業間の競争と協調

10:00～11:50於3 2 E教室（午前、1セッション企画）

企画責任者：佐藤幸人（アジア経済研究所）

座長：大橋英夫（専修大学）

報告者

伊藤信悟（みずほ総合研究所）「「日本企業の台湾活用型対中投資」に関する考察—日台間の「経営資源の優位性」の補完構造の視点から—」

川上桃子（アジア経済研究所）「パーソナル・コンピュータのODM取引にみる日台企業間分業の編

成原理」

コメンテーター

若林直樹（京都大学）、丸川知雄（東京大学）

第6分科会

第2期民進党政権と中華民国の脱国民党化

10:00～11:50於32A教室（午前、1セッション企画）

企画責任者：渡辺剛（杏林大学）

座長：諏訪一幸（北海道大学）

報告者

松本充豊（長崎外国語大学）「国家再編と国民党資産—消えゆく中国現代史の遺産」

渡辺剛（杏林大学）「政権交代と政府機構の中立化—以党領政の残滓は消えたか？」

コメンテーター

門間理良（文部科学省教科書調査官）、高橋政陽（テレビ朝日）

第7分科会

台湾総督府の産業政策—米と茶の管理政策

10:00～11:50於32D教室（午前、1セッション企画）

企画責任者：中嶋航一（帝塚山大学）、河原林直人（龍谷大学非常勤）

座長：石田浩（関西大学）

報告者

中嶋航一「台湾総督府の米の管理政策」

河原林直人「台湾総督府の茶業関与—領台初期茶業を巡る認識と政策—」

コメンテーター

堀和生（京都大学）、河合和男(奈良産業大学)

第8分科会

「他者」としての原住民族表象—日本人作家と台湾人作家は原住民族をいかに描いてきたか」（大会開催校企画）

10:00～11:50（休憩） 13:30～15:20 於 3 2 G教室（午前・午後、2セッション企画）

座長：孫大川（国立東華大学）、魚住悦子（独立行政法人国際交流基金関西国際センター）

報告者

楊智景（お茶の水女子大学大学院）「1930年代の台湾山地ものにおける原住民女性像」

王惠珍（静宜大学）「『他者』としての原住民族—龍瑛宗の自己認識について」

李文茹（名古屋大学大学院）「戦後の日本人女性文化人はいかに植民地台湾体験を語っているのか—坂口レイ子の「蕃地」作品をめぐって」

呉錦発（作家・行政院文化建設委員会）「台湾原住民文化中的生態観点」

コメンテーター

丸川哲史（明治大学）、河原功（成蹊高校）、中島利郎（岐阜聖徳学園大学）、孫大川

第9分科会

自由論題報告Ⅰ（産業分野）

13:30～15:20 於 3 2 D 教室（午後、1セッション企画）

座長：近藤正己（近畿大学）

報告者

岩村益典（国立台湾師範大学大学院）「台湾官営移民に見る日本帝国主義の一側面」

新福大健（鹿児島県立鹿屋農業高等学校）「台湾糖業連合会の活動—1910年から1914年を中心に—」

コメンテーター

大平洋一（筑波大学大学院）、森久男（愛知大学）

第10分科会

自由論題報告Ⅱ（政治・国際関係分野）

13:30～15:20 於 3 2 A 教室（午後、1セッション企画）

座長：松田康博（防衛研究所）

報告者

野口真広（早稲田大学大学院）「植民地官僚石塚英藏と大日本帝国の植民地政策—参事官長時代の台湾経験を中心に—」

佐橋亮（東京大学大学院）「アメリカ外交における海峡兩岸 — リンドン・B・ジョンソン政権期における中国との「対立の中の共存」と国府の「封じ込め」 —

コメンテーター

波形昭一（獨協大学）、前田直樹（広島大学）

第11分科会

自由論題報告Ⅲ（社会経済分野）

13:30～15:20 於 3 2 E 教室（午後、1セッション企画）

座長：三尾裕子（東京外国語大学）

報告者

宗田昌人（京都大学大学院）「台湾社会の近代化における日本統治期社会事業の意味」

王珊珊（北海道大学大学院）「近代台湾陸上交通政策史試論（1895－1945）—貨物を中心として—」

コメンテーター

今井孝司（白鳳女子短期大学非常勤）、やまだあつし（名古屋市立大学）

◎記念講演会

15:30～17:00 会場：9号棟（ふるさと会館）

司会：若林正丈（東京大学）

講演者紹介：石田浩（関西大学）

講演者：張炎憲先生（国史館館長）

題目：「国史館と台湾史研究」

○会員総会

17:10～17:40 会場：9号棟（ふるさと会館）

※なお、総会に先立ち、第三回日本台湾学会賞授与式を行います。

選考委員会委員長 塚本照和（天理大学名誉教授）

○懇親会

18:00～20:00 会場：ウエルカムハウス コトブキ

〒632-8510 天理市杣之内町1050

天理大学国際文化学部下村作次郎研究室気付

日本台湾学会第七回学術大会実行委員会 下村作次郎

Tel：0743-63-7412 Fax：0743-62-1965

[日本台湾学会ホーム](#)